

大森第五小学校 学校づくりNews Letter vol.3

5月から始まった改築懇談会も早いもので3回目を迎えることができました。今回は学校づくりのコンセプト案を確認いただき、新たな建物の配置計画についても意見交換を行いました。

※NewsLetter (データ版)

https://www.city.ota.tokyo.jp/kyouiku/gakukyou/shisetsu_kaichiku/oomoridaigo-shou_kaichiku.html



第3回改築懇談会レポート

令和7年9/30(火)に、主に以下の議題について委員の皆様と意見交換を行いました！

第2回懇談会で頂いたご意見を踏まえ、修正したコンセプト・施設整備方針を提示しました。配置案については、第2回懇談会で提示した3つのパターンのうち、「既存利用なし（全面建替え）」と「体育館のみ既存利用」の2つのパターンで配置案の説明を行い、その内容について様々なご意見を頂きました。

● 主な議題

- ・コンセプト、施設整備方針の確認
- ・改築範囲と整備対象機能の提案、確認
- ・配置案の検討状況の共有
- ・第2回ワークショップの開催概要について



第3回改築懇談会の様子

● 学校づくりコンセプト・施設整備方針案を提示しました

今後は、このコンセプト・施設整備方針を大切にしながら計画を進めていきます。

コンセプト：

「学びがひろがり、地域とともに成長する みんなのふるさと大五小」

施設整備方針：

1. 活発な子どもたちの学びを実現する広々とした**活動と安らぎの場**
2. 豊かな自然環境を活かした心地よい生活を送れる**快適な場**
3. 学年を越えて学校からまちへと広がる**交流の場**
4. いつでもみんなが頼れる**安心と思い出の場**

● プールの整備について

昨年度実施したプールシェアモデル事業の結果や公共施設有効活用の観点から、改築後はプールを設置せず平和島公園の屋内プールを利用する案について、学校屋上プール設置案と比較して施設面・運用面の効果や課題を共有しました。

施設面

- ・プールを設置しない場合は屋上を活動スペースなどとして有効に活用可能

～屋上活用事例～



テラス・緑化

屋上グラウンド

運用面 青字：効果 赤字：課題

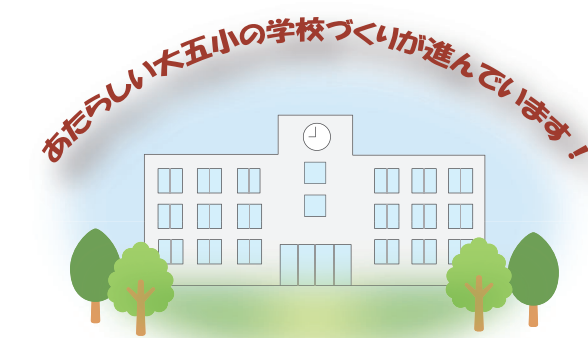
- ・学校プールの日常的な維持管理が不要となり教員の負担が軽減される
- ・天候の影響を受けずに計画的な授業が可能となる
- ・インストラクターと教員の協働により、専門的な指導と安全な授業運営が可能となる
- ・移動時の安全性確保への対策が必要となる

(主な報告内容・意見)

最近の子は屋内温水プールに慣れているため、虫や日焼けを嫌がる子もいる

移動のルートは安全性などに配慮して十分に検討して頂きたい

平和島公園プールが近く恵まれた環境にあり、この利点を活かさない手はない



今後の予定 令和7年度中に基本構想・基本計画をとりまとめる予定です

大森第五小学校の改築懇談会は残すところあと2回の予定です。今後は学校づくりのコンセプト案や施設整備方針案を踏まえて、新しい学校のカチチを考えていきます！

- 令和7年11月6日(木)：第2回ワークショップ
- 令和7年12月11日(木)：第4回改築懇談会
- 令和8年1月：第5回改築懇談会(予定)

● 改築範囲・配置案について

パターンA：既存利用なし[全面建替え] → グラウンドが広く確保できるパターンAとパターンBについて配置案の説明を行い、ご意見を頂きました
パターンB：体育館のみ既存利用
パターンC：体育館・プール既存利用[校舎のみ建替え]

	パターンA：既存利用なし【全面建替え】			パターンB：体育館のみ既存利用	
	1	2	3	1	2
配置イメージ					
避難所	体育館を2階に配置することで、水害時にも利用可能となる			既存の体育館は1階のため、水害時は避難所として利用できない場合がある	
グラウンド	南向き 最も広い	北向き 3番目に広い	南東向き 2番目に広い 不整形	北向き 4番目に広い 不整形	南西向き 5番目に広い

(主な報告内容・意見)

(全般)

- ・パターンAのように体育館を2階にすると、下の階に部屋をつくれる。敷地を有効に活用でき、結果グラウンドが大きくできる
- ・パターンAの1案は、グラウンドや校舎への日当たりがよく学校計画の基本形である
- ・水害時の避難所やグラウンドの大きさを考慮するとパターンAの1案がよい

(長寿命化への対応)

- ・長寿命化の方針もあるが、パターンBのように既存体育館を残した場合、校舎と体育館の改築年度が揃わないことにより、長期的にみて学校運営への影響が大きくなる恐れがある

(グラウンドの舗装)

- ・グラウンドの砂埃対策として、人工芝などの全天候型舗装にすることも考えられるが、活動内容にも影響があるので今後検討が必要

(グラウンド)

- ・北向きグラウンドは雨が降ると乾かないし、冬場は寒い
- ・グラウンドは形状や、直走路とトラック周囲のスペースが十分に取れるかという視点も大切である

(体育館の位置)

- ・パターンA案は3案とも体育館が西側にあるが、他の体育館配置も検討いただきたい

(公園との関係)

- ・平和の森公園へどのような部屋を向けるのか、コンセプトへの対応、セキュリティ、近隣住宅地への影響を踏まえ検討していく必要がある

改築懇談会の進捗状況は、今後もこの「News Letter」を通じて、児童・保護者・教職員や、周辺地域にお住いの皆様へ広くお知らせしてまいります。ご不明な点やご意見については、下記担当までご連絡ください。

問合せ先：大田区教育委員会事務局 教育総務課 施設担当 TEL：03-5744-1399 mail：k-shisetsu@city.ota.tokyo.jp